剱岳・源次郎尾根

平成 23 年 8 月 14～17 日
L 白土、剱持（記録）

行ってみたいと思っていながら、なかなか行けずにいた剱岳。源次郎、八ツ峰Ⅵ峰フェース、北方稜線、阿曽原温泉と盛りだくさんな計画をたてた。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

13 日（土）

夜明けとともに厚木を出発。中央道～長野道～上信越道～北陸道と長い道のりを経て馬場島に 15 時前に到着。途中の道の駅では果物を買い込み、糸魚川では桶いっぱいのお刺身ランチでこれからの長旅に備える。馬場島はちょっとしたキャンプ場（無料！）で、一般のキャンパーもいたが静かでいいところだ。ロッジのお風呂（500 円）にも入れた。

【糸魚川の吉川鮮魚店】

14 日（日・入山 1 日目）

馬場島は標高 740mと低く、樹林帯の早月尾根は暑いとのことなので、涼しいうちに稼いでおこうとヘッデンで歩き始める。1 週間分の食糧や登攀具で 20kg オーバーのザックが私にはやたら重く、中高年登山者にどんどん先を譲る。早月尾根は標高 200mおきにプレートがあり、ちょうど 200m登るのに 1 時間程度かかっている。早月小屋は水が有料（800 円／2L）なので、白土さんは水 5 L も担ぎ、総重量 35kg 位らしい。いつになく辛そうだ。高度が上がってくると、小窓尾根や北方稜線のギザギザ、振り返ると富山平野、日本海が見えてきて励まされる。最後の 200mは疲れがたまってなかなか足が進まなかったが、なんとか小屋手前の丸山に到達すると、目の前に早月小屋が見えてほっとする。テン場の端っこにテントを張った後、景色を見たり写真を撮ったりでうろうろしていると運良く小屋の人からスイカをもらえた。すごくおいしい。夕飯は豆入りマーボー春雨。

【馬場島登山口】

4：45　馬場島（740m）
15：00　早月小屋（2,224m）

15 日（月・入山 2 日目）

隣のテントが夜中までぎゃーぎゃーうるさく、文句を言おうかと思ったが我慢して 2 時起床。α米で朝食を済ませ、一番に出発。いきなり急登で足を上げるの

が大変。振り返ると早月小屋のテント場の明かりが小さく見えた。月が明るく、次第に空が白ばんでくる。空がミルク色になる頃、辺りはハイマツ帯になって南風がきもちよく吹いてきた。この早朝の夏山ならではの雰囲気は久しぶりで嬉しい。山頂直下はシシ頭、カニのハサミといった岩場になり、クサリ場が続く。重装備での通過はしんどく、クサリ場のトラバースでは怖い場面もあり、翌日以降のバリエーションルートが思いやられる。

剣山荘からの道と合流すると山頂はもうすぐ。登山者で賑わう剱岳山頂は意外に広かった。とても天気がよく、360 度雲ひとつなくて、念願の剱岳の山頂に立てたことが素直に嬉しい。

山頂から熊の岩を見降ろすと、テントが 10 張位。前夜は 20 張もあったらしいけどこれならいける。北方稜線へ長次郎のコルを目指す。疲れもあり、荷物を背負っての岩場の下りが怖い。白土さんが前向きで下りていけるところを、私は後ろ向きでのそのそと着いていく。ルートを探したりしながらコルへ下り、そこからアイゼン、ピッケルで長次郎谷の左俣を熊の岩に向かって下る。雪渓はクレバスが入っていたり切れている箇所もあるが、ジグザグに１時間ほど下って熊の岩に到着。八ツ峰が目の前で、水場にも近いロケーション最高のテン場がちょうど空いていてラッキーだった。おやつを食べていると夕立が来たのでテントに避難し、そのまま夕飯。虫がいる以外は快適。

3：50　早月小屋
8：30／9：10　剱岳
11：30　熊の岩

【快晴の剱岳山頂】

【早月尾根。とても長かった】

【熊の岩のテン場】

16 日（火・入山 3 日目）

2 時起床。ら一めんで朝食をとり、源次郎尾根を目指して長次郎谷の雪渓を下る。１時間ほどで剱沢に着き、そこから

平蔵谷出合まで登り返すこと 30 分ほどで源次郎尾根の取付に到着した。ケルンがあり、ブッシュにしっかりした踏み跡があってとてもわかりやすい。アイゼンを外し、少し登ると大きな岩が登場。ロープが垂れていた。先行パーティーは「せーのっ」と掛け声を上げて登っていた。先にザックを上げ、何回かトライして攀じ登った。その後も木の根っこがからまった急登が続き、調子が上がらない私はのろのろと具合が良くない。「このままでは何時に山頂に着くかわからないので引き返す」との言葉で、大休憩でしっかり行動食を食べるとそれまでよりは歩けるようになった。

樹林帯を抜けると、Ⅰ峰左の上部岩壁を２人のクライマーが登っているのが見えた。足場のなさそうな壁に張り付いていてかっこいい。道はお花畑の中の登りとなり、一登りでⅠ峰山頂。Ⅰ峰からⅡ峰まではクライムダウン。怖いかもと思っていたけれど、落ち着いて下りれば何ともなかった。

Ⅱ峰からは 30mの懸垂でコルに下りる。50mのダブルロープ 2 本で下りた。途中にも１箇所支点があり、１回区切ればロープ１本でもいけそう。途中の支点は頼りないけど、最後の数mはクライムダウンでも下りられそうなので区切らなくても 50mロープ１本で大丈夫そうだ。ここで女性ガイド＆男性客と思われるパーティーに抜かれた。ここから山頂までは特に怖いところもなく、ただ踏み跡をたどって上へ進むだけ。相変わらずもたもたしているうちに雨が降ってきて上下カッパを着こみ、やっとのことで山頂に到着。昨日とはうって変わって、真っ白で何も見えない。ちょうど富山県警が巡回パトロールしていて、北方稜線の様子などを教えてくれた。写真も撮ってくれていい人だった。

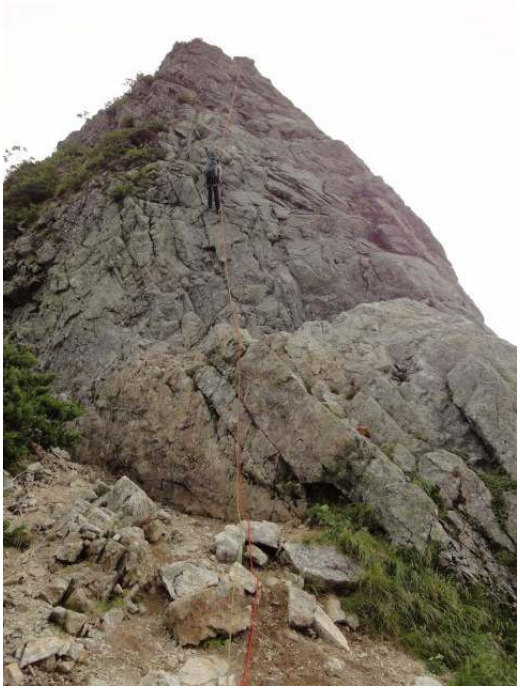
昨日と同じ、北方稜線を経由して長次郎谷の左俣から熊の岩に戻った。たった一日でも雪渓は確かに溶けて減っていた。夕飯は車麩の煮込み。初めて食べたけど軽くておいしくて、これは山で使える。雨は夜止んだけど、結構寒い。

4：00　熊の岩
5：40　源次郎尾根取付
13：30／14：00　剱岳
16：00　熊の岩

【剱沢】

【源次郎尾根の取付】

【Ⅱ峰へ。バックはⅠ峰】



【Ⅱ峰からの懸垂下降】

17 日（水・入山４日目）

これから天気は下り坂。一方、当初の予定では北方稜線を歩き、阿曽原温泉を通って欅平まであと２泊しての下山となる。でも、雨の中歩くのもアレなので、早々に室堂へ下山することにした。もし岩が乾いていれば朝イチでＣフェースくらい登ってから下りようと思っていたけど、3 時に起きるとまた雨音が。諦めてもう少し眠ってからテントを撤収し、長次郎谷～剱沢～別山乗越と室堂を目指す。

剱沢からの登りにだいぶ苦戦し、そのうちに雨も降ってきて、白土さんにだいぶ離されて独りとぼとぼ登る。剱岳には分厚い雲がかかり、剱沢のテン場でもみんな停滞しているようだ。別山乗越からは下りとなり、だんだん元気が出てきて室堂に到着。観光客も多い。みくりが池温泉できれいになってから、バス、ケーブルカー、富山地鉄、タクシーを乗り継いで馬場島の車に戻った。

6：40　熊の岩

14：40　みくりが池温泉

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

念願の剱岳に２方向から登り、去年の夏より少しはグレードを上げることができて、短くも充実した夏合宿になった。六峰Ｃフェース、北方稜線、阿曽原温泉の露天風呂とだいぶ宿題が残ったけど、これはまた今度。残雪期にもまた登れればいいなと思う。

【剱岳山頂】